



トンサイ鳥図鑑（アルファベット順に紹介）


英語名	Arctic Warbler	
学名	<i>Phylloscopus borealis</i>	
日本名	メボソムシクイ	
特徴	<p>全長 13cm。体重 8.5-14g。背面は淡い緑褐色の羽毛で覆われる。夏季にアラスカ、ユーラシア大陸北部で繁殖し、冬季になると東南アジアへ南下し越冬する。繁殖期には「チョチョリ チョチョリ チョチョリ」と歯切れのよい声でさえずる。聞きなしは「銭取り、銭取り」。朝だけでなく日中もよくさえずる。地鳴きは、「リュリュ」または「ジュジュ」。</p>	


英語名	Ashy Minivet	
学名	<i>Perioroetus divaricatus</i>	
日本名	サンショウクイ	
特徴	<p>全長 20cm。背面が灰色、腹面が白い羽毛で覆われる。翼は黒いが、風切羽の基部は白い。夏季に日本、ロシア東部、朝鮮半島で繁殖し、冬季は東南アジアへ南下し越冬する。和名は鳴き声が日本語圏では「ヒリリー」と聞こえ、山椒を食べた（「山椒は小粒でもピリリと辛い」という諺がある）と連想されたことに由来する。</p>	


英語名	Asian Brown Flycatcher	
学名	<i>Muscicapa dauurica</i>	
日本名	コサメビタキ	
特徴	<p>全長 13cm。和名はサメビタキより小型である事に由来する。夏季にシベリア南部、朝鮮半島、ヒマラヤ山脈などで繁殖し、冬季はユーラシア大陸南部、インドネシア、フィリピンへ南下し越冬する。平地から山地にかけての落葉広葉樹林に生息する。群れは形成せず、単独もしくはペアで生活する。</p>	


英語名	Asian Palm Swift	
学名	<i>Cypsiurus balasiensis</i>	
日本名	アジアヤシアマツバメ	
特徴	全長 13cm。椰子の木に巣を作り1回に2~3個の卵を産む。腹面は薄茶色で翼は黒い。足は比較的短いが垂直なところでもつかまることができる。地上にはほとんど降りることはなく、空中で虫を捕食し、翼に付いた水分を補給する。	


英語名	Barn Swallow	
学名	<i>Hirundo rustica</i>	
日本名	ツバメ	
特徴	体形は流線形で、飛翔する際に空気の抵抗が少ない。尾羽は長く、アルファベットの「V」字状になる種が多い。翼は長く、初列風切は9枚。嘴は小型だが、口は大型。後肢は小型。主に昆虫を食べるが、果実や種子を食べる種もいる。多くの場合は飛翔しながら口を大きく開け、飛翔している獲物を捕食する。	

英語名	Black Drongo	
学名	<i>Dicrurus macrocercus</i>	
日本名	オウチュウ	
特徴	全長約 28cm。成鳥は全身が青みがかった黒色で、羽には光沢がある。尾は長く、先端が逆 Y 字に割れており、野外で本種を識別する際の特徴となっている。開けた森や田畑、市街地に生息する。浅く波を描くようにふわふわと飛びながら、昆虫類を捕食する。「ジーッ」、「ジェー」など、やや濁った声で鳴く。	


英語名	Black-naped Oriole	
学名	<i>Oriolus chinensis</i>	
日本名	コウライウグイス	
特徴	全長 26cm。くちばしの基部から眼を通る筋模様(眼過線)が入る。眼過線は黒く、左右の眼過線が後頭部で繋がる。食性は雑食で、昆虫類、節足動物、果実等を食べる。種小名 <i>chinensis</i> は「中国産の」の意。	

英語名	Black-naped Tern	
学名	<i>Sterna sumatrana</i>	
日本名	エリグロアジサン	
特徴	全長約 30cm。全身は白い羽毛で覆われる。嘴の基部から眼を通り後頭部へ続く黒い筋模様(過眼線)が入る。インド洋、太平洋南西部、東南アジアの島々、オーストラリア北部で繁殖する。食性は動物食で、魚類や甲殻類を食べる。主に海面近くを飛翔し嘴で獲物をつまみ捕食するが、飛翔しながら空中で静止(ホバリング)し空中から急降下し獲物を捕食することもある。	

英語名	Blossom-headed Parakeet	
学名	<i>Psittacula roseate</i>	
日本名	バライロコセイインコ	
特徴	体長約 30cm。尾は 18cm ほど。雄の頭はピンク色で後頭部は薄青色。首部に黒い筋模様があり嘴は黄色。主に種子、果物、花類を食す。	

英語名	Blue-tailed Bee-eater	
学名	<i>Merops philippinus</i>	
日本名	ハリオハチクイ	
特徴	体長約 30cm。その名の通り蜂類を好むがトンボなども食す。河川の土手などに集団で長いトンネル状の巣を作り、5～7個の卵を産む。夫婦共に卵を温める。	


英語名	Brahminy Kite	
学名	<i>Haliastur Indus</i>	
日本名	シロガシラトビ	
特徴	体長約 40-50cm。頭部と胸部は白く、翼と尾は赤茶色。水面の上を飛びながら魚をねらい、水面近くにきた魚を足を伸ばしてとらえるのが普通であるが、弱った水鳥を襲うことや、打ち上げられた魚や甲殻類を好んで食べる場合もある。	

英語名	Bridled Tern	
学名	<i>Onychoprion anaethetus</i>	
日本名	マミジロアジサン	
特徴	全長 30-38cm。翼開長は 76-81cm。頭頂部から後頭部、および通眼線は黒、胴体の背面は灰褐色、喉から顔、胸、腹面は白い羽毛で覆われる。食性は動物食で、魚類や甲殻類を食べる。主に海面近くを飛翔し嘴で獲物をつまみとったり、飛翔しながら空中で静止(ホバリング)し空中から急降下し獲物を捕食する。	


英語名	Brown-throated Sunbird	
学名	<i>Anthreptes malacensis</i>	
日本名	チャノドコバシタイウチョウ	
特徴	体長約 14cm。鋭い金属的な鳴き声を発する。食物は、花蜜と花に集まる小昆虫やクモ類などである。花蜜は、そばの枝に止まって吸うことが多く、ハチドリのように飛びながら吸うことはほとんどしない。	


英語名	Common Asian Koel	
学名	<i>Eudynamis scolopacea</i>	
日本名	オニカクコウ	
特徴	ホトトギス科の鳥。全長約 40 センメートルで、この類のなかでは大形種。雄は全身が黒く、雌は全体に褐色地に暗色や淡色の斑(はん)のある羽色をしている。木の実を好んで食べるほか、昆虫やカタツムリなどの小動物も食べる。[コーエル]という声を5~10回ほど繰り返す。	


英語名	<i>Common Myna</i>	
学名	<i>Acridotheres tristis</i>	
日本名	インドハッカ	
特徴	タイ全土で見られる九官鳥の一種。雑食性で果物、昆虫、ペットフード、何でも食す。トンサイバイでもお馴染みの鳥、レストランではゲストがよそ見をしている隙にテーブルから食べ物を盗むこともある。	


英語名	<i>Common Sandpiper</i>	
学名	<i>Actitis hypoleucos</i>	
日本名	イソシギ	
特徴	全長 20cm。翼長 29cm。翼開張 38-41cm。上面は灰褐色で覆われ、羽毛の軸に沿った斑紋(軸斑)は黒い。渡り際には小規模な群れを形成するが、冬季は単独で生活する。静止時や歩行時には尾羽を頻繁に上下に動かす。短距離を飛行時には翼を下げたまま先端を振るわせて飛行する。食性は動物食で、主に昆虫を食べるが、甲殻類、軟体動物も食べる。獲物は水辺を徘徊したり泳ぎながら捕食する。	


英語名	<i>Common Tailorbird</i>	
学名	<i>Orthotomus sutorius</i>	
日本名	オナガサイホウチョウ	
特徴	全長約 13 センチメートル、嘴(くちばし)はやや長く下に曲がっており、長い尾を垂直に立てる習性がある。枝についたままの大きな木の葉 1、2 枚を、クモの糸などを用いてびょうで留めるように縫い合わせて巣をつくる種があり、和名と英名は、この習性からつけられた。	


英語名	<i>Coppersmith Barbet</i>	
学名	<i>Megalaima haemacephala</i>	
日本名	ムネアカゴシキドリ	
特徴	体長約 17cm。頭と嘴(くちばし)が大きく尾の短いずんぐりした体形で、足は短くて強い。羽色に光沢はないが、赤、青、黄、白、黒など多色の大柄な模様のはでなものが多く。樹上性で果実を主食とし、昆虫なども食べる	


英語名	Dark-necked Tailorbird	
学名	<i>Orthotomus atrogularis</i>	
日本名	ノドグロサイホウチョウ	
特徴	全長約 13 センチメートル、喉元の黒い部分を除いてはオナガサイホウチョウと似ている。	


英語名	Dusky Warbler	
学名	<i>Phylloscopus fuscatus</i>	
日本名	ムジセッカ	
特徴	全長約 13 センチメートル。上面は暗緑色、下面は淡黄色で、黄白色の眉斑(びはん)がある。ユーラシアの北部とアラスカの一部に繁殖分布し、いずれの地方のものも中国南部と、東南アジアすなわちインドシナ半島、フィリピンなどで越冬する。	

英語名	Edible-nest Swiftlet	
学名	<i>Collocalia fuciphaga</i>	
日本名	アナツバメ	
特徴	全長 10～15 センチメートルの小型の鳥。アマツバメ科の鳥には絶壁などに営巣するものが多いが、アナツバメ類は特に、洞穴内の壁に営巣するものが多いため、アナツバメの和名がある。他のアマツバメ科の鳥同様、羽毛など空中で得られるの浮遊物を飛翔しながら集めて巣材とし、これを唾液腺から分泌される粘着質の分泌物で固めた巣を作る。この点が類縁の遠いツバメが泥を地表で採取して巣材にするのと大きく異なり中華料理の高級食材である燕の巣として利用される。	


英語名	Great Egret	
学名	<i>Egretta alba</i>	
日本名	ダイサギ	
特徴	体長は 90cm ほどで、日本ではアオサギと並ぶ最大級のサギ。全身の羽毛が白色。白鷺の一種。水田や川、湖沼などで、魚、両生類、ザリガニ、昆虫などを捕食する。首を S 字型に縮めて立っている姿がよく観察される。繁殖は、サギ科の種類同士で寄り集まって、集団繁殖地の「サギ山」を作る習性がある。鳴き声は「ゴアー」、主に繁殖期に鳴く。	

英語名	Greater Coucal	
学名	<i>Centropus sinensis</i>	
日本名	オオバンケン	
特徴	体長約50cm以上。ホトギス科のなかでは大形で、全体に褐色や黒のじみな羽色をしているものが多い。体形は同じ科のカッコウやホトギスに似ているが、足はより太くて頑丈である。アフリカ、アジア、オーストラリアなどに分布し、サバンの草やぶや沼沢地などにすんでいる。おもに地上で採食し、大形昆虫、トカゲ、カエルなどをとって食べる。	


英語名	Greater Racket-tailed Drongo	
学名	<i>Dicrurus paradiseus</i>	
日本名	ガザリオウチュウ	
特徴	全長 18 センチメートルから 40 センチメートルほどであるが、尾の長いものは全長 70 センチメートルに近い。体形は細めで、枝に体を立てて止まる。翼は長い。昆虫食の樹上性の鳥で、つがいまたは単独で生活するが、森林で他種の混群に入る。木の高い枝先の分岐になかばつり下げのように浅い皿状の巣をつくる。カラスやタカなどに対して非常に攻撃的にこの巣を守ること知られ、同じ木には多くの小鳥が営巣する。	

英語名	Green-billed Malkoha	
学名	<i>Phoenicophaeus tristis</i>	
日本名	オニクロバンケンモドキ	
特徴	カッコウ科に属する体長55cm 程の鳥。全体が灰色に覆われ目の周りが赤いのが特徴。	

英語名	Grey-faced Buzzard	
学名	<i>Butastur indicus</i>	
日本名	サンバ	
特徴	全長は、雄はおよそ 47cm で雌はおよそ 51cm。翼開長 105cm-115cm。主にヘビ、トカゲ、カエルといった小動物、セミ、バッタなどの昆虫類を食べる。稀にネズミや小型の鳥等も捕らえて食べる。人里近くに現れ水田などで狩りをする。	


英語名	Hoopoe	
学名	<i>Upupa epops</i>	
日本名	ヤツガシラ	
特徴	全長約 28cm。雌雄同色。くちばしは黒で細長く下に曲がっている。頭には広げると扇状になる冠羽があり、橙黄褐色で先は黒い。頭部、上背、胸は橙褐色で、翼と尾は黒褐色と白色の横縞模様になっている。平地の開けた草地や農耕地に生息する。食性は主に動物食で、地上を歩きながら昆虫類などを捕食する。	


英語名	Indian Roller	
学名	<i>Coracias benghalensis</i>	
日本名	インドブッポウソウ	
特徴	全長 33cm。単独やペアで生活し縄張りを形成するが、大量発生した獲物を捕食したり渡り際には大規模な群れを形成することもある。樹上等から地表の獲物に襲い掛かり捕食するか、獲物を空中で飛翔しながら捕食する。繁殖期になると空中を転がるような飛翔を行い求愛する。本科の構成種に対しての英名 Roller(「転がる者」の意)はこの求愛飛翔に由来する。樹洞や建築物の隙間等を巣にする。	


英語名	Inornate Warbler	
学名	<i>Phylloscopus inornatus</i>	
日本名	キマユムシクイ	
特徴	全長約 10.5cm。ムシクイ類中では小型の種である。体の上面は黄緑色で下面は少し黄色がかった白色である。森林で生活する。食性は動物食で、昆虫類を主に食べる。	


英語名	Japanese Sparrowhawk	
学名	<i>Accipiter gularis</i>	
日本名	ツミ (雀鷹)	
特徴	全長オス 27cm、メス 30cm。翼開長 50-63cm。体重 75-160g。漢字表記の雀は「小さい」の意で、和名はスズメカが変化したメスに対しての呼称に由来する。平地から山地の森林に生息する。単独もしくはペアで生活する。食性は動物食で、主に小形鳥類を食べるが、爬虫類、小形哺乳類、昆虫なども食べる。漢字表記の雀はスズメも含めた小型の鳥類を捕食することにも由来し、英名 (sparrow=スズメ)と同義。	

英語名	Large-billed Crow	
学名	<i>Corvus macrohynchos</i>	
日本名	ハシブトガラス	
特徴	全長 56cm、翼開長 100cm、体重 550-750g ほどで、全身が光沢のある黒色をしており、雌雄同色。食性は雑食で、昆虫や木の実、動物の死骸など、あらゆるものを食べる。特に脂質を好み、石鹼や和蝋燭を食べることもある。また、小鳥やネズミなどの生きた小動物を捕食することもある。	

英語名	Mangrove Whistler	
学名	<i>Pachycephala grisola</i>	
日本名	マングローブモズヒタキ	
特徴	体長約 15~17cm。色は主に灰色で翼などは茶色がかっている。胸部から足にかけては白。マングローブを主に棲みかとしている。	

英語名	Olive-backed Sunbird	
学名	<i>Nectarinia jugularis</i>	
日本名	キバラタイヨウチョウ	
特徴	体長約 11cm。頭部から翼にかけて茶色、胸部は黄色。嘴は細長く下に湾曲している。舌は管状。羽色に性的二型があり、雄は鮮やかな色を呈す。花蜜食。	


英語名	Oriental Magpie-robin	
学名	<i>Copsychus saularis</i>	
日本名	シキチョウ	
特徴	体長約 19cm。比較的尾は長い。雄は頭部から背面にかけてと喉から胸は黒色で、腹部は白色である。翼に大きな白色の斑がある。熱帯から亜熱帯にかけての開けた森林や耕作地に生息する。しばしば人家の庭にも現れる。主に昆虫類やクモ類などを捕食する。	

英語名	Pacific Reef Egret	
学名	<i>Egretta sacra</i>	
日本名	クロサギ	
特徴	全長は 63cm。中型のサギ。黒色型と白色型が存在する。主に海辺の岩場や珊瑚礁に生息するが、干潟や河口にいたこともある。コロニーは形成せず、単独もしくはペアで生活する。昼行性。海上を低空飛行し、獲物を探す。食性は肉食性で、魚類、甲殻類、貝類を食べる。	


英語名	Paddyfield Pipit	
学名	<i>Anthus rufulus</i>	
日本名	ヒメマミジロタヒバリ	
特徴	体長約15cm。特徴は首から胸部にかけて茶色い数本の筋模様が見られ体に対して嘴、足、尾が比較的長い。	

英語名	Pale-Legged Leaf-warbler	
学名	<i>Phylloscopus tenellipes</i>	
日本名	キタムシクイ	
特徴	その名のとおりほとんどは昆虫食だが、一部は果実も食べる。樹上・草原などに生息し、枝葉や草の間にひそむ虫を捕食する。	

英語名	Pink-necked Green Pigeon	
学名	<i>Treron vernans</i>	
日本名	コアオバト	
特徴	全長 25cm。名前の通り全体的にオレンジ色で首の辺りにピンクやオレンジ色が見れる。広葉樹林や針広混交林を好み、単独～多い時は 10 羽程度の群れを作って行動する。海水を飲む行動が頻繁に観察されている。塩分を補給する目的があると言われているが、詳しいことは分かっていない。「オーオーオー」等と聞こえる独特の声で鳴く。樹上に木の枝を束ねた皿型の巣を作る。植物食で果実や種子を食べる。	

英語名	Purple-backed Starling	
学名	<i>Sturnus sturninus</i>	
日本名	シベリアムクドリ	
特徴	体長約20cm。頭部は灰白色で、後頭に紫色光沢のある大きな黒斑がある。背は紫色の光沢がある黒色。翼にも緑色光沢があり、雨覆に白斑がある。腰は淡褐色。嘴と足は黒い。キュルキュルと鳴く。	

英語名	Purple Heron	
学名	<i>Ardea purpurea</i>	
日本名	ムラサキサギ	
特徴	全長 78-90cm。翼開張 120-170cm。体重 0.5-1.2kg。頭頂から後頭は黒い羽毛で被われ、後頭の羽毛 2 枚が伸長(冠羽)する。顔や頸部、胸部は褐色の羽毛で被われ、顔から頸部にかけて黒い筋模様が入る。頸部上面や胴体上面は灰黒色の羽毛で被われる。また青みがかった灰色や赤褐色の長い羽毛が混じり、紫みを帯びる。食性は動物食で、魚類、両生類、小型爬虫類、小型鳥類、小型哺乳類、軟体動物、甲殻類、クモ、昆虫などを食べる。	


英語名	Radde's Warbler	
学名	<i>Phylloscopus schwarzi</i>	
日本名	カラフトムジセツカ	
特徴	体長約13cm。頭部から背、尾まではオリーブ褐色。喉から下面は汚白色。過眼線が黒褐色。眉斑は汚白色で目先で太い。嘴は太めで上嘴は黒い。下嘴は肉色。足は太く、肉色。ロシア南部、中国北部、千島列島で繁殖する。冬季は東南アジアに渡る。トゥツ トゥツと低く詰まった感じで聞こえる。さえずりはチュチュチュチュと鳴く。	

英語名	Red-rumped Swallow	
学名	<i>Cecropis daurica</i>	
日本名	コシアカツバメ	
特徴	体長約18cm。頭から背は藍色光沢のある黒色。翼と尾は黒色。外側尾羽がととも長い。喉(のど)から下面全体、および翼の下面の雨覆は淡褐色で、褐色の細い縦斑が多数ある。腰は四角形に赤褐色で、褐色の小さな縦斑がある。顔の側面も赤褐色。空中を飛翔し、昆虫を捕らえる。ジュリリ ジュリリ チューやジュピッ ジュピッ、チビッなどと鳴く。	

英語名	Scaly-breasted Munia	
学名	<i>Lonchura punctulata</i>	
日本名	シマキンバラ	
特徴	体長約11cm。顔と体の上面は暗褐色または赤褐色。上尾筒は暗褐色または黄褐色。体下面は白く、胸と脇(わき)に黒または赤褐色のうろこ状の斑がある。嘴は灰黒色。日本で記録のあるものはどの亜種に当たるのか記載は無い。亜種クロアミメは下面の鱗模様が明瞭であるといい、亜種アミメは羽色が鮮やかであるという。亜種ウスアミメは上面の色が明るく、腰は灰色である。下面の模様が淡い。	


英語名	Scarlet-backed Flowerpecker	
学名	<i>Dicaeum cruentatum</i>	
日本名	セアカハナドリ	
特徴	体長約10cm。名前の通り頭部から背中にかけて鮮やかな赤い模様がある。熱帯雨林で生活し、主に花蜜を、ほかに、花に集まる小昆虫や種子などを食べる。	


英語名	Shikra	
学名	<i>Accipiter badius</i>	
日本名	タカサゴダカ	
特徴	体長約30cm。猛禽類の中では比較的小さい。胸部は無数の赤茶色の模様線が見られる。トカゲ、トンボ、小鳥や小動物を好む。	

英語名	Spotted Dove	
学名	<i>Streptopelia chinensis</i>	
日本名	カノコバト	
特徴	体長約30cm。インド、スリランカから中国南部と東南アジアまでの南アジアに生息する。北アメリカやオーストラリア、ニュージーランドなどにも移入種として生息している。	


英語名	Striped Tit-babbler	
学名	<i>Macronous gularis</i>	
日本名	ムナフムシクイチメドリ	
特徴	体長約13cm。頭部と翼は栗色で胸部と腹部は黄色。食物は主に昆虫だが、草の種子も食べる。	

英語名	Stripe-throated Bulbul	
学名	<i>Pycnonotus finlaysoni</i>	
日本名	キビタイヒヨドリ	
特徴	体長約20cm。東南アジアの留鳥。主に果物を好む。	


英語名	Thick-billed Green Pigeon	
学名	<i>Treron curvirostra</i>	
日本名	ハシブトアオバト	
特徴	体長27cm。アオバトの中では比較的大きく、根元が赤い太い嘴が特徴。マングローブの森を居住とする。	

英語名	Thick-billed warbler	
学名	<i>Acrocephalus aedon</i>	
日本名	ハシブトオヨシキリ	
特徴	全長約 18cm。ウラル地方から東シベリア南部、沿海地方までのロシアと中国東北部で繁殖し、冬季はインド南部から東部、インドシナ半島やマレー半島に渡り越冬する。雌雄同色である。体の上面は茶褐色で腰と尾は赤褐色。喉から体の下面にかけては白色。羽色はオヨシキリと似ているが、体の上面はやや暗色である。また、眉斑がなく嘴が太く短めであることも識別点となる。	

英語名	White-bellied sea-eagle	
学名	<i>Haliaeetus leucogaster</i>	
日本名	シロハラウミワシ	
特徴	体長 70-90 cm 開長:200 cm。マングローブ林上空で見ることが多い。内陸の湖沼でも見かける。主に魚をとっている。風切羽が黒く、飛んでいるときの白黒のコントラストは遠くからでもよく目立つ。尾が短く、翼の幅が広い。翼をもち上げた深いV字の姿勢で帆翔する。	

英語名	White-breasted Waterhen	
学名	<i>Amaurornis phoenicurus</i>	
日本名	シロハラクイナ	
特徴	体長約 32cm。成鳥は額から顔、腹にかけてが白色でよく目立つ。頭頂部から体の上面は、やや光沢のある褐色がかった黒色。下尾筒は茶色。嘴は黄色で、基部は赤い。河川、湿地、水田、マングローブ林に生息するが、山間部の草地でも見られることがある。繁殖期はつがいで生活する。縄張りを持ち、他の個体が侵入すると「クォ クォ」と鳴きながら威嚇し、頭を前に伸ばしながら追い払う。	

英語名	White-crested Laughingthrush	
学名	<i>Garrulax leucolophus</i>	
日本名	ハクオウチョウ	
特徴	体長約 30cm。ヒマラヤ北西部から中国南西部・ミャンマー、タイ、インドシナ、スマトラ島西部に分布。熱帯雨林の下層や藪に生息。草の中やしげみで採食。普段は「チュッ、チュッ」と鳴きますが、ときに人間の笑い声をあげることから英名の「笑いつぐみ」という名前がつけられた。	

英語名	White-rumped Munia	
学名	<i>Lonchura striata</i>	
日本名	ジュウシマツ	
特徴	体長約 12cm。寿命は、短ければ 3 年程度、長くても 8 年程度である。普段の鳴き声は「ブッ、ブッ」と電子音を思わせる声である。雄は繁殖期に雌に対し、羽毛を逆立てながら「ププー〜」とさえずる。尾は長めで、嘴は太く、真っすぐである。嘴、羽毛、足の色は多様で、親子で遺伝する。	

英語名	White-throated Kingfisher	
学名	<i>Halcyon smyrnensis</i>	
日本名	アオショウビン	
特徴	体長は 25cm ほどで、アカショウビンと同じくらいの大きさ。くちばしと足は赤く、目は黒い。頭から脇腹、腹までは濃い茶色、英名のとおりのは鮮やかな白、翼の芯は黒い。翼のふちと背中はややかな空色で、これが和名の由来になっている。分布域では森林から都市部まで広く生息する。水辺から離れた場所にも生息している。ホバリングはせず、石や枝の上からえものを狙う。水に飛び込んで魚類やカエル、カニ、水生昆虫などを捕食するが、地面のカタツムリやトカゲをとらえることもある。細く短い声で「ピッ ピッ」と鳴く。	

英語名	Yellow-vented Bulbul	
学名	<i>Pycnonotus goiavier</i>	
日本名	メグロヒヨドリ	
特徴	体長約 20cm。密林以外の様々な場所に生息する。耕作地では最もよく見られる鳥の 1 つである。定期的に場所から場所へ移動する。草や葉、根、茎、枝等で、上手くカモフラージュされているが壊れやすい帽子型の巣を作る。外側は乱雑だが、植物の繊維にほぼ沿っている。	